

公的研究費コンプライアンス教育等実施方策

(1) 公的研究費コンプライアンス教育の実施方策

1. コンプライアンス教育の対象者

財団に所属する職員のうち、公的研究費の使用に携わる者（非常勤を含む）

2. 実施体制

- ・コンプライアンス推進責任者は、統括管理責任者の指示のもと、自己が管理監督を行う部署内のコンプライアンス教育対象者に対し、コンプライアンス教育を実施し、受講状況を管理監督する。
- ・コンプライアンス教育は、毎年度実施する。

3. 実施方法

- ・財団の不正防止に関する方針及びルール等に関する説明会を実施する。
- ・文部科学省が公開している「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に係るコンプライアンス教育用コンテンツ（動画・冊子）を活用して、実施する。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1350200.htm

- ・独立行政法人日本学術振興会がサービス提供する「研究倫理 e ラーニングコース」を活用して、実施する。（平成28年4月下旬サービス開始）

4. 理解度の把握方法

- ・各部署において、当該部署内全対象者の受講を確認する。
- ・コンプライアンス推進責任者は、報告書（別紙1）を統括管理責任者へ提出する。

5. 未受講者に対する方策

- ・コンプライアンス推進責任者の責任において、未受講者に対し、説明会資料の受領と教育用コンテンツ、e ラーニングコースの視聴について督促を行う。

(2) 誓約書の提出

1. 対象者

- ・コンプライアンス教育の対象者に同じ。

2. 誓約書の提出

- ・誓約書は、毎年度コンプライアンス教育の実施に併せて提出する。
- ・コンプライアンス教育受講者は誓約書（別紙2）を提出する。

(別紙1)

平成 年 月 日

統括管理責任者 殿

総合研究センター（総務部）
コンプライアンス推進責任者
○○ ○○

コンプライアンス教育実施報告書

総合研究センター（総務部）においては、センター内（部）における公的研究費の管理・運営に関わる全ての対象者に対し、コンプライアンス教育を実施しましたので報告します。

(別紙2)

平成 年 月 日

平成〇〇年度

誓 約 書

一般財団法人沖縄美ら島財団
理 事 長 殿

所 属 _____

氏 名 _____

(氏名は必ず自署すること)

私は、下記事項を遵守することを誓約いたします。

記

1. 一般財団法人沖縄美ら島財団における公的研究費の使用に関する行動規範を理解し、高い倫理観に基づき行動すること。
2. 公的研究費の使用にあたり、財団が定める会計規則等並びに当該研究費の配分機関が定める事務処理手続き及び使用ルールその他関係する法令・通知等（以下「規則等」という。）を遵守するとともに、使用にあたっての説明責任を果たすこと。
3. 財団で管理すべき公的研究費の原資が国民の税金等でまかなわれていることを認識し、研究計画等に基づき適正かつ計画的・効率的に使用するとともに、規則等に則り不正使用及び不正行為を行わないこと、また、効率的かつ適正な事務処理を行うこと。
4. 規則等に違反して不正を行った場合は、財団や配分機関の処分及び法的な責任を負担すること。

以上

(本様式は、対象者自ら作成し、所属部署等にて保管すること。)